



第27回 日本プライマリケア学会

平成16年6月6日(日)

患者側からみた「家庭医」への 期待に関する調査

用賀アーバンクリニック
田中 勝巳_

目的

患者さんが、「家庭医」という存在に対し、どのようなイメージ・期待・意見をもっているのかを調査する。

方法

患者さんに自由記載式アンケート

「当院は、あなたや家族の健康をトータルに考える家庭医を目指しています。家庭医についてどのようにお考えですか？ご意見がございましたらお聞かせ下さい。」と質問。85名から有効な回答を得た。

集まった自由記載の内容を、意味上最も小さい164の文節にした上で、内容の比較を行い、同様の意味を持つカテゴリを作成し、さらにこれらを集約して、家庭医に対するイメージに関する上位カテゴリーを構築した。

家庭医への期待 カテゴリ分け

- 1. 受診のしやすさ**
 - 地域性
 - 一次窓口
- 2. 医師の特性・人柄**
 - 身近な存在
 - 話をよく聞く
- 3. 良好な患者医師関係**
 - 信頼性
 - 安心感
 - 理解
- 4. 家族をも含めた総合的な診療**
 - 総合性
 - 背景を把握した上での診療
 - 家族単位
- 5. 継続性**
 - 継続性
- 6. 連携**
 - チーム医療
 - 病診連携
- 7. 求められる守備範囲**
 - 予防
 - 健康管理
 - 相談
 - 指導
 - 在宅
 - 婦人科
- 8. 責任ある診療**
 - 時間外対応
 - カルテ開示
 - 的確な診療
- 9. 家庭医への意見**
 - 肯定的意見
 - 否定的意見
 - 普及に期待
 - 昔のかかりつけ医
 - 海外
 - その他
- 10. 用賀アーバンクリニックへの評価**
 - 肯定的意見
 - 希望・要望

家庭医への期待 1

上位カテゴリ	カテゴリ	回答
受診のしやすさ	地域性	自分の住む地域にあってほしい
		近所にあってほしい存在
		近所に家庭医がいることを多くの人が望んでいる
		どんな場所にもあってほしい
	一次窓口	体調不良時のファーストコンタクト
		ファーストコンタクトをとる医師
		病状に対しての一次的窓口の役割が適切にできる存在
医師の特性・人柄	身近な存在	身近なお医者さん
		文句も言える長い付き合い
		親身になってくれる医師を身近に感じる
	話をよく聞く	小さな身体の悩みでも、しっかりと聞いて診察してくれる存在
		患者の意見を十分に聞くドクターが少ない
		話をよく聞く
良好な患者 医師関係	信頼性	頼りがいのあるお医者さん
		信頼できるかかりつけ医がいると安心
		人としての信頼感が必須
		安心して、とにかく何でもきける医者
		いざという時、頼れる医師がいると安心
	安心感	家庭医がいれば安心して薬も飲めるし、治療も受けられる
		いつものなれた医師であれば子供もこわがらない
	理解	具合が悪い時はあまり説明できなくてもわかってもらえる
		性格や体調をわかってくれる医師
体のことを何でもわかって治療してもらいたい		

家庭医への期待 2

上位カテゴリ	カテゴリ	回答
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: yellow; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 家族をも含めた 総合的な診療 </div>	総合性	総合窓口としての相談所
		総合的な助言
		健康をトータルに考える
		トータルに判断し、最適な診療をしてくれる存在
		色々な病気への対応
		多方向からケアができる医者
	背景を把握したうえでの診療	病歴や個人性をも評価する診療
		これまでの病歴を把握した上での診療
		病歴や家族構成を把握しての治療方針の設計
		体質や病歴、家庭環境を把握した診療は大きな安心感がある
		生後からの病状の経緯を把握し人間性まで把握していることが信頼感につながる
		家族や生活習慣をも把握した診療
		病気を断面的にとらえるのではなく、身体のリズムの流れの一環としての診療
		不調な時にすぐに行けて病歴やその他家庭環境等も熟知している存在
		罹患しやすい病気のパターンの把握
		家族単位
	こどもから大人まで家族で信頼できる医師	
	長期的な視点で家族の健康状態を管理	
	家族構成の把握	
	家族全員の長期的な健康の維持増進のサポート	
	家族全体の病歴を考慮した診療、検査	
	家族でかかれる	
	患者個人でなく、家族を総合的に診療する存在	
	家族環境も理解した上での診療	
	家族のために必要な存在	
	病気の時に親と子が一緒に診てもらえる	
	親子間で体質等を考慮した診療	
	子供から大人まで、何かあったらそこに行けば診てもらえると便利	
	家族のプライバシーが守られる	

家庭医への期待3

上位カテゴリ	カテゴリ	回答
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #FFD700; padding: 10px; display: inline-block;"> 求められる 守備範囲 </div>	予防	ガンの定期健診
		予防医学的に体質改善を相談できる存在
		早期に病気を発見してもらえる、信頼できる医師
	健康管理	健康を長期的に管理し、適切なアドバイスをする役割
		健康の大切さを教える
	相談	何でも気軽に相談できる
		気軽に相談できる
		メールでも相談できる
		少しでもおかしい時に相談できる
		メールや電話で気軽に相談したい
		色々なケアや相談ができる
		緊急時に相談できる存在
		いつでも、どんなことでも健康に関する相談に応じる
		インターネットでの家族の健康管理、健康相談の実現
		悩みを深刻になる前に相談できるような存在。
		健康についてトータルに相談できる
		メールで健康上の気軽なアドバイスを求める仕組みがほしい
		どのようなことも気軽に相談できる存在
		子供からお年寄りまで幅広い年齢層についての体調に関する相談
	指導	生活習慣（食事、運動）指導
		運動・食事指導
		日常の注意点を教える
		生活習慣改善のアドバイス
	在宅	寝たきり時の往診
		家での看取りの支援
	婦人科	ウーマンヘルスへの期待
		更年期の相談
妊娠の管理		

家庭医への期待 4

上位カテゴリ	カテゴリ	回答
連携	チーム医療	医師だけでなくスタッフ全ての人間性、医学的知識等の統一が大切
		複数医師がいる場合は連携が必要
		個のつながり
	病診連携	すべての診療が出来なくてもかまわない
		その医師の守備範囲を超えた時は適切な所への紹介
		大学病院とのネットワークが必要
		他の医療機関との連携が必要
	治療や検査ができなくても症状に応じた病院の紹介や適切な助言ができる存在	
	いろいろな科でつながりのある診察を受けたい	
責任ある診療	時間外対応	時間外などのフレキシブルな診療対応
	カルテ開示	カルテ開示の必要性
		他院緊急受診時や出張時に自分の医療情報を提示できる
	的確な診療	信頼だけでなく診療の正確さ
		的確な診断 適切な初期治療
継続性	継続性	継続してほしい
		継続性（長くやることが重要）
		長期的な診察が個人個人の理解をより深めると思う
		「患者の求める医療を」という基本的な理念を追求し続けること

家庭医への期待5

上位カテゴリ	カテゴリ	回答
家庭医への意見	肯定的意見	とても大切な存在
		賛成である
		必要な存在
		是非必要
		ありがたい存在
		家庭医の考え方には賛成
		家庭医と考えていることに感謝する
		興味はある
		家庭医はとても良い制度
		賛同する
		今後の日本に必要な存在
		推進すべき
		とてもよいこと
		必要なものだと思う
		患者やその家族をトータルに診る家庭医の存在はとても重要
		とてもよいと思う
		賛同する
		意味があることだと考える
		子供の親としては助言も得られ強い必要性を感じる
	家庭医は非常に有効	
	大変な仕事と思う	
	否定的意見	最新医療、情報にどれだけ俊敏に対応しているか疑問
		どんなところに紹介されるか紹介病院への不安がある
関心はあるが、理解できない		
どう相談すべきかわからない		
		医者に対する遠慮がある

家庭医への期待 6

上位カテゴリ	カテゴリ	回答
家庭医への意見	普及に期待	日本ではまだあまり浸透していない
		まだまだ少ない
		家庭医の動きが今後広がっていくことに期待
		普及が阻まれている
		このようなクリニックがもっとあればと思う
		もっともっと普及してほしい
		もっと広まればよいと思う
		今後こうした家庭医制度が定着することを望む
		具体的な事例や活用法などを発信してほしい
	昔のかかりつけ医	昔でいう、近所のかかりつけ内科医
		大変信頼できるかかりつけ内科医がいた
		田舎の家庭医は、40年以上にわたり家族全員が診てもらっている内科医
		昔のお医者さんというイメージ
		子供の頃に通った小児科のような存在
		以前は体調不良時に診療内容に関係なく通える、かかりつけ医がいた
	海外	アメリカではファミリードクターをもつことは一般的
		欧米でいう主治医のようなイメージ
		長くアメリカに住み、家庭医の恩恵を受けた
	その他	医療費の削減につながる
		医療はサービス業

家庭医への期待 7

上位カテゴリ	カテゴリ	回答
用賀アーバンクリニックの評価	肯定的意見	知人に用賀アーバンクリニックを勧めている
		昼休みにも受診できるのがよい
		今のスタンスで医療サービスを受けることで安心して通院できる
		このクリニックにとっても安心して家族全員がかかっている
		話しやすいし、よく患者の意見をきいてくれてとてもいいと思う
		とてもお世話になっている
		8時から診療があるので助かる
		病気を通じ、家族の心理状態や相談事までみてもらい感謝している
		昼休みなく診療があり助かる
		家族で通院している
		友人に紹介している
	希望・要望	担当医がない
		医師により見解が違うのは不満
		田舎の家庭医とは少し違う感覚がある
		通いやすい雰囲気が欲しい
		家庭医ならば住職一致が希望
		用賀アーバンクリニックが家庭医としての役割を確立してほしい
		家が遠いのでいつも来られないことが残念
		診療項目を増やしてほしい

プライマリケアのA C C C Aとの比較

近接性 Accessibility

受診のしやすさ

包括性 Comprehensiveness

家族をも含めた総合的な診療
求められる守備範囲

協調性 Coordination

連携

継続性 Continuity

継続性

責任性 Accountability

医師の特性・人柄
良好な患者医師関係
責任ある診療

結論

専門医・高次病院へのアクセスがよい都市地域においても、家庭医に対するニーズや期待感が高いことが示唆された。

得られた意見を集約すると、プライマリケアのACCCAの概念と共通する部分が多かった。

家庭医としての役割や課題が浮き彫りにされ、当院における今後の改善テーマが得られた。